

学校教育目標	たすけあう子 かんがえる子 たくましい子
目指す学校像	「はじめに子どもありき」の教育 ○児童一人ひとりが輝く学校 ○保護者にとって通わせてよかった学校 ○地域にあってよかった学校 ○教職員にとって勤めてよかった学校
重点目標	1 確かな学力の育成 2 豊かな人間性と健やかな体の育成 3 開かれた学校づくり 4 安心・安全な教育環境の整備 5 教職員の資質向上と働き方改革の推進

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※重点目標は5つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。  
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価							学校運営協議会による評価	
年度目標				年度評価			実施日 令和8年2月20日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等
1	<p>〈現状〉 ○市の学習状況調査結果「学びに向かう力等」の項目で肯定的な回答をした児童の割合は、市平均を上回るもしくは同程度である。</p> <p>〈課題〉 ○全国学力・学習状況調査や市の学習状況調査の結果分析から、設問に対する無回答率が高い傾向がみられる。 ○全国学力・学習状況調査や市の学習状況調査結果では、全国・市平均と比べやや下回っている。</p>	個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実	<p>①全国及び市の学習状況調査の結果をもとに、市教委の学力向上カウンセリング研修を受け、主体的に学習に取り組む態度の育成を図る。</p> <p>②児童が自ら学習を調整する探究型の授業を実践する。</p> <p>③各教科等のねらいの達成に向け、一人一台端末を積極的に、効果的に活用した学習を推進する。</p>	<p>①調査結果の分析結果や学力向上カウンセリング研修を踏まえ、授業改善の視点、手立てを設定することができたか。</p> <p>②学習過程を工夫し、「学びのシンキングサイクル(仮称)」を実践する。</p> <p>③市の学習状況調査「週3回以上のPC使用率」80%以上。</p> <p>④～③学校自己評価に係るアンケートで「真剣な学び/進んで学習」への肯定的な回答が90%以上。</p>	<p>①夏季休業中に教員間で調査結果の分析する場を設け、授業改善の視点、手立てを設定した。</p> <p>②校内研究で「学びのシンキングサイクル」を視点に位置付け全教員が授業公開を実施した。</p> <p>③市の学習状況調査「週3回以上のPC使用率」77%。</p> <p>④～③学校評価アンケート「真剣な学び/進んで学習」(2項目)の肯定的回答は1項目は90%、もう1項目が80%。</p>	B	<p>・校内研究の視点に本年度位置付けた「学びのシンキングサイクル」を次年度も継続し、個別最適な学びや協働的な学びの指導法について共有を図り、指導に生かすようにする。</p> <p>・更新される児童用端末の確実な整備と使用方法等に関する教員への周知・支援を進め、デジタルの力でリアルな学びを支えていくようにする。</p>	<p>・学習過程を教師と児童が共に意識して学びに取り組むことで、児童の主体性をはぐくむ土台づくりにつながっている。</p> <p>・AIなどの活用も大切ではあるが、児童が自ら考えることのできる力を引き続きはぐくんでほしい。</p>
2	<p>〈現状〉 ○学校評価アンケートで「児童は友だちと仲よく生活していますか」の肯定的な回答が、児童・保護者・地域とも95%以上の値である。</p> <p>〈課題〉 ○市の学習状況調査結果「自分によいところがあると思いますか」の項目では、肯定的な回答が市平均をやや下回っている。 ○「心と生活のアンケート」からも自己肯定感が低が傾向がみられる。</p>	児童一人ひとりへの細やかな教育支援・相談に向けた校内支援体制の充実	<p>①保護者との「個人面談週間」や「にこにこ相談日」の設定と教職員の教育相談事例研修会やケース会議を開催する。</p> <p>②児童の発達過程を支え自己肯定感や自己有用感向上に資する「発達支持的生徒指導」を実践する。</p> <p>③「心と生活のアンケート」「おはようメーカー」等のデータを活用した課題の早期発見・早期対応に努める。</p>	<p>①「個人面談週間」や「にこにこ相談日」の設定と教育相談事例研修会やケース会議を開催したか。</p> <p>②学校評価「児童一人ひとりを大切にする教師」児童A評価60%以上。</p> <p>③～③学校評価アンケート「教職員は、保護者や児童からの相談や要望に対して、誠実に対応していますか」の肯定的な回答が、児童・保護者ともに95%以上。</p>	<p>①1・2学期末に「個人面談週間」毎月「にこにこ相談日」を設定し実施した。教育相談事例研修会は児童理解研修と兼ねケース会議も適宜開催した。</p> <p>②学校評価「児童一人ひとりを大切にする教師」児童A評価60%。</p> <p>③～③学校評価アンケート「教職員は、保護者や児童からの相談や要望に対して、誠実に対応していますか」の肯定的な回答が、児童95・保護者96で95%以上。</p>	A	<p>・引き続き、SCやSSWをはじめ関係機関との連携を深め、迅速かつ組織的な対応を行い、児童一人ひとりの気持ちに寄り添った教育的支援の充実を図る。</p> <p>・「発達支持的生徒指導」を通して、児童の望ましい行動を増やし、自己肯定感や社会性を育てていく。</p>	<p>・一人ひとりを丁寧に見取り、支えていく指導を進めている。</p> <p>・児童の自己肯定感を高められる取り組みは、引き続き学校、家庭、地域が相互に連携して進めていくことが大切である。</p>
3	<p>〈現状〉 ○学校運営協議会において、目指す学校像・児童・教師像をもとに学校・家庭・地域が連携・協力し、児童を地域全体で育てていくことを共有した。</p> <p>○市の学習状況調査結果「地域の行事に参加している」「地域の人たちは自分たちを見守り、支えてくれている」の項目で肯定的な回答をした児童の割合は、市平均を上回っている。</p> <p>〈課題〉 ○教育活動や児童の様子及び学校運営協議会の内容を保護者・地域に周知し、協働活動の一層の推進を図る。 ○登下校の安全について、連絡体制や見守り体制を整備していく必要がある。</p>	保護者・地域との連携・協働を重視したコミュニティ・スクールの進化	<p>①児童参加型の学校運営協議会を開催し、児童と保護者・地域の方との意見交換の場を設け、保護者・地域とともに協働活動を進める。</p> <p>②PTAと連携して旗振りボランティア用アプリ(旗振り用gメール)を導入し(5月)交代体制等を整備する。</p> <p>③学校に関わる人々が学校行事等についてHP上で閲覧できるようにし、学校の教育活動や児童の成長に対する関心を高める。</p>	<p>①児童参加型の学校運営協議会を開催することができたか。</p> <p>②PTAと連携して旗振りボランティア用アプリ(旗振り用gメール)を導入し(5月)交代体制等を整備できたか。</p> <p>④～③学校評価アンケート「保護者にとって通わせてよかった学校」の保護者A回答41%。</p> <p>⑤～③学校評価アンケート「地域にあってよかった学校」の地域A回答90%以上。</p>	<p>①児童参加型の学校運営協議会を11月に開催。</p> <p>②旗振りボランティア用アプリ(旗振り用gメール)を導入し(5月)交代体制等を整備した。</p> <p>③～③学校評価アンケート「保護者にとって通わせてよかった学校」の保護者A回答41%。</p> <p>④～③学校評価アンケート「地域にあってよかった学校」の地域A回答81%。</p>	B	<p>・保護者・地域の方による学習ボランティア活動、地域関連施設と連携した取組等について、周知や情報発信をさらに進めていく。</p> <p>・地域とともにある学校づくりを進めるために、児童参加型の学校運営協議会を開催し、意見交流を通して、学校・家庭・地域の結びつきをより一層深めていく。</p> <p>・児童会をはじめとする自治的な活動を通して、児童が学校・学級生活の改善や行事の企画・運営に主体的に関われるよう支援していく。</p>	<p>・学校内外で行われている取組や行事などについて、これまで以上に情報発信を強めていく必要がある。</p> <p>・大人だけでなく、児童が参画して学校や地域を盛り上げていけるよう計画していくことが望ましい。</p>
4	<p>〈現状〉 ○施設の瑕疵等による児童の大きなけがは起こらなかったが、施設の老朽化が進んでいる。</p> <p>○リフレッシュ計画の延期に伴い、学校施設の改築・改修工事について、教育委員会と連携し、連絡調整を図っている。</p> <p>〈課題〉 ○事故防止に向け、施設の安全点検を定期的実施し、危険な箇所の修繕を進め、安心・安全な教育環境を維持していく。 ○教育活動の一層の充実に向け、重要度・必要度を踏まえた適切かつ適正な予算執行を行う。</p>	安全・安心な学校施設の管理と計画的な予算執行	<p>①チェックシートを活用した全職員による安全点検を毎月実施するとともに、管理職による目視・接触による点検を実施する。</p> <p>②学期ごとに予算会議を年間3回開催し、優先順位を踏まえた予算配分と執行を行う。</p>	<p>①危険・修繕箇所発見から対策を立て、1か月以内の改善に向けた対応を実施したか。</p> <p>②重要度・必要度を踏まえ、適正な予算執行に向け予算会議を年3回開催したか。</p> <p>③予算執行率95%以上。</p>	<p>①全職員による安全点検を毎月実施し、危険・修繕箇所発見から対策を立て、1、か月以内に改善・対応をした。運動場の危険物等の除去(毎朝)と週1回の遊具安全点検を実施した。</p> <p>②予算会議を年3回開催した。</p> <p>③予算執行率100%。</p>	A	<p>・金属探知機による運動場の安全確認を実施するとともに、老朽化した施設修繕と定期的かつ確実な安全点検を実施する。</p> <p>・学校リフレッシュ計画の見直しに基づき、教育委員会担当課等との連絡・調整を確実かつ迅速に行う。</p>	<p>・施設や設備の修繕は、迅速に対応している。</p> <p>・リフレッシュ工事に向けて、情報共有を定期的に行ってほしい。</p>
5	<p>〈現状〉 ○学校課題研究を中心に、ICTを活用した児童の主体的な学びの育成に取り組んでいる。</p> <p>○会議の精選やデジタル化、ペーパーレス化をはじめ、業務改善に取り組んでいる。</p> <p>〈課題〉 ○「量的な働き方改革」と「質的な働き方改革」をバランスよく進める。 ○時間外在籍時間に個人差があり、学校業務の負担感や多忙感が教職員にみられる。</p>	「働きやすさ」と「働きがい」のある職場環境づくり	<p>①研究主任を核とし、教職員のボトムアップによる研究を推進し、1人1研究・公開授業を実施する。</p> <p>②学校徴収金等のキャッシュレス化を導入する。</p> <p>③笑顔とユーモア、会話・対話の機会を重視し、同僚へのリスペクトを基本とした人間関係を構築する。</p>	<p>①1人1研究・公開授業を実施することができたか。児童が行う「学びの指標」アンケートの調査結果による平均値が、13.5ポイント以上。</p> <p>②学校徴収金等のキャッシュレス化を導入する。</p> <p>④～③学校自己評価に係る教職員アンケートで「勤めてよかった学校」への肯定的な回答95%以上。</p>	<p>①1人1研究・公開授業を実施した。児童が行う「学びの指標」アンケートの調査結果による平均値が、12.96ポイント。</p> <p>②学校徴収金等のキャッシュレス化を導入した。</p> <p>④～③学校評価アンケート「勤めてよかった学校」の教職員肯定的な回答86%。</p>	B	<p>・教職員が明るく元気に子どもと向き合える職場環境の充実に向け、「量的な働き方改革」を引き続き実施する。</p> <p>・働きやすさや働きがいなど教職員の意義に関わる「質的な働き方改革」を推進し、笑顔とユーモアのある風通しの良い組織づくりを行う。</p>	<p>・生き生きとした児童の育成には、教職員の心身の健康が大切である。</p> <p>・引き続き、安心・安全な学校となるよう教職員にお願いしたい。</p>